

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
使命1 文化芸術の活動と体験の場になる	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール、多目的ルーム、音楽練習室などの利用率が年間を通じて高く、とくに音楽練習室は平均約88%と、地域のニーズに応える稼働となっている点を評価できます。 ・自主事業17回でアンケートを実施し、回収率70%以上を確保するなど、利用者の声を継続的に把握しようとする姿勢が明確です。 ・利用相談を年間91回実施し、受付時のヒアリングや毎月のスタッフミーティングを通じて、現場レベルでのきめ細かな対応と情報共有が図られている点も好ましいと感じます。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール・会議室それぞれに利用率の月間ばらつきが見られるため、閑散期の創造的な活用策（平日昼間のプログラムや企業研修利用など）を検討いただきたいです。 ・SNS 発信やスタンプカード制度など利用促進の工夫が進められていますが、若年層・新規層へのリーチを意識した広報設計やデジタル媒体との連携強化があると、次のステージに進めると考えます。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者は、ビジョンとミッションを明確に打ち出し、そのための具体策が示され、実行に取り組んだ点は高く評価できます。 ・「使ってみたいホール、行ってみたい施設」像の確立を目指しており、広く市民と芸術を繋ぎ、利用者や事業参加者からも高評価を得ており、文化芸術の活動と体験の場を提供する施設として評価致します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化する固定客層への対応、さらに幅広い年齢層の来場者確保については、使命1の課題として非常に大切であり、工夫や見直しを含め今後の更なる取組を期待します。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホール、音楽練習室の貸館利用が高い利用率であったことを評価します。 ・積極的なアンケートの実施や利用者懇談会等により、利用者のニーズを把握する努力がなされたことを評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議室と多目的ルームの利用率が低いため、新たな利用方法の提案の必要性を感じました。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定量指標に掲げた利用率は概ね増加傾向にあり、施設利用の拡大に向けた取組が着実に実行されている結果と判断できる。定性指標からは、アンケートや懇談会等を通してきめ細かく利用者の声を吸い上げ、現場に還元している様子が窺え、これにスタッフの誠実で前向きな対応姿勢が加わって、満足度の向上へと繋がっている。また複数の企業体による協業体制下では相互の情報共有や意思疎通が課題となるが、この点についても上手く対応できているように見受けられる。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定量指標中、総来場者数の減少が気にかかる。前向きな取組が空回りしているとは思えず、他に何か要因があるように見受けられる。実績報告中でも言及されているが、近年の異常気象による猛暑など環境的な要因があるのであれば、それに対する取組について、特に高齢の利用者等への配慮などを含め、さらなる充実を期待したい。アクセス面での課題についても、引き続き取り組んでいただきたい。利用率が低い会議室については、何かここならではのこだわりポイントが作れるといいのではないか。利用者用Wi-Fiの整備なども課題と思われる。

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
<p>使命2 文化的建造物の魅力を発信するとともに、文化芸術を媒介に地域の力を結びつける</p>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧細菌検査室について、開館・閉館時の点検と週3回の清掃を実施し、常時公開を継続している点は、歴史的建造物の保存と利活用の両立という観点から高く評価できます。 野口英世フェア、夏休み体験教室、生涯学習フェスティバル、感謝祭など、歴史・学び・芸術を組み合わせた多様な事業が実施され、いずれも参加者・来館者の満足度が概ね79～93%と高い水準にある点が印象的です。 金沢区民活動センター等との連携のもと、多くの登録団体・地域プレイヤーが参画する仕組みをつくっていることは、文化的コモンズ形成に寄与していると考えます。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 野口英世博士への手紙コンテストの参加校は5校と増加していますが、周辺区も含めた学校とのネットワーク拡大により、歴史資源を活かした教育連携をさらに推進できる余地があると思われま 歴史的建造物としての魅力発信は進んでいる一方で、撮影ロケ地や企業イベントでの活用は実績が出ていないため、料金設定や利用条件の再整理、フィルムコミッション等との連携を含めた検討を期待します。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「野口英世フェア」の開催は、博士への手紙コンテストなどコンテンツにも趣向が凝らされており、また長浜検疫所の歴史や博士を学ぶ貴重な機会を提供しており評価できます。 横浜野口顕彰会や長浜ホール賛同団体公募の開始など、地域の施設や団体との連携事業にも多様な取り組みを展開しており、文化芸術を介して地域力を活性化につなげている点も高く評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 実績、成果をあげている一方で、演者の負担、顕彰会スタッフの高齢化等対応など急がれる課題もでており、文化芸術の担い手、理解者をふやすなど今後のいっそうの具体的な取り組みを期待します。 野口英世博士は日本の歴史にとって大切な存在であり、連携や地域力の解釈を、より広くとらえることも大切です。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「野口英世フェア」が延べ300名以上の参加者を集め、アンケートによる満足度も高かったことを評価します。 夏休み体験教室のアンケートによる満足度が92%と非常に高く、大人も子供も楽しめる事業が実施出来たことを評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> スタッフの高齢化の影響で、イベントのクオリティが低下することの無いよう、若手スタッフの育成が必要であると思いました。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本ミッションについては着実に充実を図りつつあることが窺える。まず野口英世博士の関連事業について、フェアの開催をはじめ顕彰活動とともに若年者向けのワークショップ開催など積極的に展開することで、施設特性のさらなる周知に貢献している。 地域の施設、団体と連携した事業に関しても、質量ともに充実してきている。視察させていただいたコンサートの印象も、それを裏付けることとなった。参加者の満足度も高く、地域の文化拠点として定着しつつある様子が窺える。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 旧検疫所という特殊な施設である以上限界はあるが、たまたま来て存在を知ったというだけではなく、この施設を目的に来訪する仕掛けづくりに期待したい。横浜市内には他にも歴史的建造物が多数残されている。他の施設との連携や共同での情報発信など、新たな魅力創出に向けた取組に期待したい。

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
<p>使命3 次世代を担う文化創造の担い手を育む 多様な市民の活動を支援するとともに、</p>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴスペルワークショップやキッズダンススクールでは、年間を通じて延べ数百名が参加し、子どもから大人まで「参加型」「継続型」のプログラムが確立している点を評価します。 ・学校プログラムを通じ、小学校へのアウトリーチを実施していることは、芸術体験の機会格差の縮小や次世代育成に資する取組といえます。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みず色の風コンサートでは満足度が高い一方、固定客の高齢化により集客が目標に届かない回が見られるため、若年層・子育て世代を意識したプログラム内容や広報の工夫が求められます。 ・学校プログラムの実施校が2校にとどまっているため、地域の教育機関との情報共有やモデル事例の発信を通じて、参加校の拡大と継続的なカリキュラム化に向けた働きかけを期待します。 	<p>【評価する点・更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴスペルワークショップやキッズダンススクールなど幅広い世代年代層が参加可能な事業を実施しており、参加者の満足度も高く評価致します。とりわけゴスペルワークショップは満足度100%を達成するなど健闘しています。地元アーティスト支援にも努めており評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定量指標による各年の数値にも努力がみてとれますが、数値の安定は、高齢固定者によるものが多数など、内実もしっかり観察する必要があります。館スタッフの構成なども勘案し、地域を大切にしつつも、さらに長浜ホールの存在感を高め、各地から広く多様な来館者が訪れやすい環境を整えることが、今後期待されます。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴスペルワークショップがアンケートによる満足度100%を達成し、参加者が満足する評価を得られたことを評価します。 ・キッズダンススクールについてもアンケートによる満足度100%を達成し、子供たちの積極的な活動の場となったことを評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みず色の風コンサートとTABUNOKI ミュージックテラスは、アンケートによる満足度は高いものの、固定客が多いところから新規の集客確保のための取組みが必要であると思いました。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校プログラムとの連携や、興味深い内容のワークショップを実施することで、地域の文化振興拠点として着実に認知されつつある様子が窺える。特にホールの雰囲気を感じながら楽器練習ができるエンジョイピアノは好評で、当施設のブランド力向上に寄与している。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実績報告にもあるとおり、コンテンツが定型化していることによる利用者の固定化にどう対処するかが課題と言える。市民による積極的な提案機会の創出や、地元を活動拠点とする事業者を誘致してのマルシェの開催など、利用者自らがコンテンツを生み出す参加型のプログラムを検討してはどうか。

横浜市長浜野口記念公園の集会施設（横浜市長浜ホール） 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
<p>使命4 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営を行う</p>	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の巡回チェックリスト（78項目）の実施や月1回の定期点検、スーパーバイザーによる施設巡回など、予防保全を重視した維持管理が徹底されており、安全・安心な施設環境が確保されています。 ・ 軽微な不具合を職員自ら修繕し、重大な修繕は市と連携して対応するなど、限られた予算の中で効率的な経費節減と長寿命化の両立を図っている点は高く評価できます。 ・ 自主事業収入 271 万円、利用料金収入 595 万円と、指定管理料に過度に依存しない収支構造に向けた取組が一定の成果を上げている点も重要です。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気・ガス料金のオーバーや冷温水発生器の経年劣化が管理運営費に影響しているため、中長期的な設備更新計画や省エネ投資の検討を通じて、光熱費の安定化を図る必要があります。 ・ 雑収入（飲料ベンダー、撮影協力費等）が目標未達であり、撮影ロケ地・企業イベント利用も実績がないことから、料金体系や営業手法の見直しとともに、歴史的建造物としてのブランド力を活かした新たな収益機会の開拓を期待します。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当該年度は施設瑕疵による事故ゼロ、法定点検実施率 100%、修繕予算執行率 65%と安定した施設運営と安全管理体制の確立が出来ており評価します。職員による日常点検や毎月の定期点検実施も着実です。 ・ 利用者の視点に立ち、持続可能性を高める施設運営に努め、自主事業(271 千円)が成果をあげ、健闘しています。 ・ 職員による日常点検や毎月の定期点検実施、軽微な修繕等、・ 着実に経費節減に努めています。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長浜ホールの利用料金収入実績は、予算額 7,160,000 円に対し決算額 5,946,378 円と 1,213,622 円のマイナスであり、今後は安定した運営や持続可能性に対する具体的な対策が求められます。 ・ 収支構造における、課題として、雑収入が目標未達であり、撮影希望等はあるものの、調整難などの現状をしっかりと把握し、撮影協力における調整や地域協力の整備、適正化などにより努めるなど、今後の対策が必要です。 ・ 歴史的建造物である当該施設は、外壁及び建具の補修なども関係者との調整が必要であり、今後とも横浜市との連携協力を努めることを期待します。 ・ 会議室や多目的ルームの稼働率に余地があり、利用率向上の対策も必要です。 ・ 利用者の視点に立って、光熱費の値上がりなど、外部要因も含め持続可能性を保ちつつバランス良い収支構造につとめ、安定的な運営につとめ、そのためにも、今後も管理運営費の推移の要因分析と改善策検討を引きつづき期待いたします。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 施設の管理瑕疵による事故件数が 0 件であり、法定点検の実施率が 100%であったことを評価します。 ・ 自主事業収入が予算額を大きく上回ったことを評価します。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 撮影ロケ地・企業イベント利用の実績が、希望があるのに調整難のため実績がなかったことについて、今後の利用拡大のための取り組みが必要であると思いました。 	<p>【評価する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 安全で快適な施設運営に向けた各種取組については高く評価できる。収支面でも自主事業・利用収入ともに目標を上回る実績を残し、安定した経営を維持できていることも大きい。特に、利用者の視点に立つ実務上の取組として、ヒアリングを可能な限り実施し、その結果を運営にフィードバックする体制が整っていることは評価できる。 <p>【更なる取組を期待する点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実績報告中でも触れているとおり、撮影ロケ地や企業イベント開催候補地としてのニーズに対応できていない点はたいへん惜まれる。調整に当たって何らかの支障があることは推察できるが、あらかじめ受け入れ可能日を設定してマッチングしやすくするなど、課題の解決に向けてぜひ積極的に取り組んでいただきたい。

横浜市長浜野口記念公園の集会施設（横浜市長浜ホール） 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
その他	<p>・業務日報や月次モニタリング、自己評価など、指定管理者としてのPDCAサイクルが書面上整理されており、報告様式も分かりやすく整備されています。今後は、こうした自己評価の結果と市民アンケートの結果を一体で分析し、次期計画へのフィードバックを明示すると、透明性・説明責任が一層高まると考えます。</p>	<p>・長浜ホールは周辺の環境とも一体感を成しており、施設運営とも相まって、訪れる市民と共に、心地よい鑑賞の場を創出しているとの印象です。当該施設と周辺や鑑賞者が一体になることによって、その価値を一層高め、文化芸術豊かな街、地域力の更なる推進につながると思います。</p>		<p>・路線バス（横浜市営バス）の停留所が新設されてから4年ほど経過したが、利用実態についてはどのような感じなのか気にかかる。もともと運行本数がそれほど多くはない路線なので、利用者が積極的に足代わりとすることはできないと思われるが、最寄り駅からの距離やアップダウンを考慮すると、もう少し利便性が向上することを期待したい。若年層や高齢者のアクセシビリティ強化や近年の異常気象対策について、バスの積極的活用など検討の余地があるのではないか。</p> <p>・隣接の緑地の活用についても、横浜市との調整や交渉に積極的に取り組んでいただきたい。視察時の説明では管理者が異なるとのことだったが、利用者にはそのような背景は分からず、維持管理が行き届いたホールの傍らで、雑草が伸び放題となった緑地があることに違和感を覚えることもあるのではないか。この緑地を指定管理者が合わせて活用できるようになると、より多彩なワークショップやコンサート、フリーマーケットの開催などコンテンツの充実に繋げることができるように思う。</p>

横浜市長浜野口記念公園の集会施設（横浜市長浜ホール） 令和6年度指定管理業務評価シート（外部評価）

	高橋委員	西田委員	古本委員	牟田委員
総括	<p>・4つの使命に沿って、貸館運営、歴史資源の活用、次世代育成、安全で持続可能な施設運営のいずれの面でも、計画どおりまたはそれ以上の成果が示されており、指定管理者として安定した運営がなされていると評価します。</p> <p>・一方で、観客層の高齢化や特定層への偏り、雑収入や新規利用形態（撮影・企業イベント等）の未成熟といった中長期的な課題も明らかになっております。これらを「次の10年に向けた施設像」の議論と結びつけ、歴史的建造物としての価値と地域文化拠点としての役割を両立させる戦略的な運営を期待します。</p>	<p>・長浜ホールはビジョン「文化芸術の力でソリューションと健康と幸福を生み出すホール」を明確に掲げ、その取り組みは利用者や事業参加者の活動と体験の場として高い満足度を得るなど、文化芸術活動の推進及び歴史的建造物の保存活用における成果を着実に出しており評価致します。</p> <p>・歴史的建造物の活用及び地域連携については、「野口英世フェア」や「夏休み体験教室」など趣向を凝らした事業コンテンツが、歴史的価値及び地域力を高める成果をだしており評価致します。また上記でも述べましたが運営負荷及び協力団体の高齢化対応などは、事業クオリティにも関わる事案であり、対策が急がれます。</p> <p>・多様な市民活動の支援と次世代育成では「生涯学習フェスティバル2024、ゴスペルコンサート」を視察し、いくつかの協力グループ出演者によるゴスペルの響き、会場の聞き手も一つになっての一体感、指揮者とのハーモニーや複数の司会者など素晴らしいコンサートとの印象をもちました。当該事例にもみるように、長浜ホール全体が心地よい文化芸術コモンズとして、今後もミッションを実現し、持続できることと期待いたします。課題としては参加校数、固定客層の高齢化などが挙げられますが、上記でも述べたように、長浜ホールの存在は金沢区のみならず広く市民の文化資源、財であり、参加対象校の拡充なども視野に今後に期待できます。</p> <p>・施設運営については、安定安全に管理の体制確立が出来ており、評価致します。歴史的建造物として補修等は、今後とも横浜市との連携協力を努められ、又雑収入については現状把握を行い、対策の適正化に努めるなどが必要と思われれます。</p> <p>・総括として、館全体が骨太の方針を明確にして取り組み、一方でスタッフが日々見回るなど、細やかな努力を重ね、そうした積み重ねが利用者や事業参加者からも信頼と高評価を得ており、文化芸術を通しての地域力創造の観点からも当該ホールを高く評価致します。</p>	<p>・「文化芸術の力でソリューションと健康と幸福生み出すホール」というビジョンを実現するための取り組みが、積極的になされていると感じました。</p> <p>・今後「地域の交流・活性化と文化芸術の新たな担い手を創出する」というミッション達成のため、新規利用者の獲得やスタッフの育成のための施策が実現されることを希望します。</p>	<p>・使命1から4までの取組を概観して、たいへん良好な施設維持管理並びに運営が実現できている。市民の活動拠点としても順調に定着しつつあり、不利な立地条件にもかかわらず健闘している。一方で、コンテンツの固定化や陳腐化による利用者や協力者の減少が危惧されることから、早急に新たな魅力向上策を打ち出す必要がある。施設利用者だけでなく、定期的に市民が集えるような仕掛け作りにも積極的に取り組んでいただきたい。</p>